

平成28年11月22日(火)~12月19日(月)の期間、福祉文化会館1F オークシアターギャラリーにおいて開催いたしました。

この展覧会の企画は茨木市の歴史をテーマに作品を創るということでスタートしましたが、茨木市の山間部にある千提寺、下音羽の集落において江戸から大正に至る300年もの長い間、信仰が存在した「隠れキリシタンの里」にテーマを絞って制作することになりました。

13名の参加があり、最初は難しいという意見もありましたが、それぞれに個性的な表現ができて良い展覧会になったのではと思っています。

見に来られた人は「茨木市にこんな良いところあったなんて知らなかった。是非、今度、行ってみたい。」と言っておられました。

私たち美術協会が活動の拠点とする茨木市を始め地域の文化や歴史を美術を通し研究会活動としてこれからも関わっていきたいと思っています。今後とも活動のご参加、ご協力どうぞ宜しくお願いします。

研究会委員長 林宰久



お寺に残された墓標に刻まれた十字架

十字架はキリシタンの思いの象徴だと思います。隠れても守り通しかつた「十字架」は我が命果てても尚、墓標に刻まれています。

刻まれた十字架に永遠の思いを込めた墓標を前に、私達はどう向き合えば良いのでしょうか？



茨木美術協会
研究会

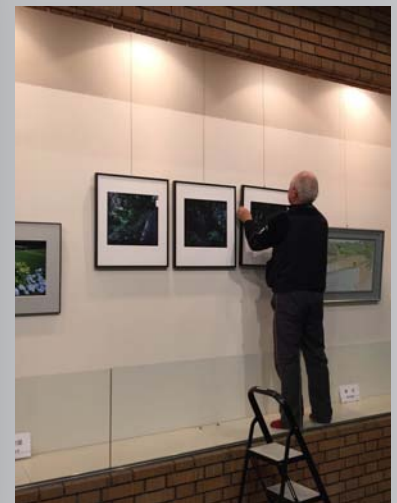
隠れ キリシタンの里展

洋画 今井 孔子
 写真 浦谷 光
 アイン 梶原 雅彦
 日本画 鈴木 篤子
 日本画 竹内 幸子
 日本画 田中 章夫
 写真 田中 悦子
 日本画 中井 雅子
 写真 橋本 友男
 彫刻 林 宰久
 日本画 松葉 藤山
 日本画 松林 枝子
 工芸美術 馬渡 喜穂

茨木市北部の千提寺や下音羽の集落では江戸から大正にいたるまで約300年間、私たちの祖父母が生きた時代まで隠れキリシタン信仰が存在していました。この山里をテーマにして色々なジャンルの美術家たちがそれぞれに作品を制作いたしました。是非ご覧下さい。

2016年11月22日(火)
▶12月19日(月)
AM9:00 ~ PM7:00
(最終日はPM1:30まで)
茨木市福祉文化会館1F
オークシアターギャラリー

お問い合わせ：林 宰久（茨木市東太田 1-3-828 / TEL：090-8480-7970）



研究会参加者一同



展示会観覧して

研究会活動も数を数えましたがそろそろ転換期にあるのではと思っています。

地域の文化や歴史に深く関わることは協会としての視点を広げる重要なテーマだと考えます。只、これらのテーマは並々ならぬ覚悟が伴うものです。美術協会以上の長くて深い歴史があるからです。

願わくば、一過性で終わらせる事無く、継続させて一層、深耕化を図って、プロセス毎のセミナーなどと共に、市民へのアピールや理解を高める努力を図るべきでは無いでしょうか？

展示会を見ながら、そう思いました。

広報部 北井 勲